議員研修報告書

「持続可能な歳出削減策」

石橋孝義

日　時　：　5月9日（火）14：00～16：30

会　場　：　リフレンス新有楽町ビル2階

講　師　：　村山 祥栄 氏（大正大学地域構想研究所客員教授・前京都市議会議員）

1.　アフターコロナの議員目線、夕張から警鐘

持続可能な歳出削減策として

* 財政再建の道

・なぜ財政再建は必要か？～夕張破綻に学ぶ～

夕張破綻への道

・自治体破綻の危機

1979年　中田鉄治市長誕生「炭鉱から観光へ」

6期24年で観光事業176億円投入

大成功！自治大臣表彰、視察相次ぐ･･･

しかし、その陰には･･･破綻したわけとは･･･

①　第3セクターの粉砕決算

まとめ

・　中田市長の経営の失敗（長期政権の弊害）

・　チェック機能の不在（監査委員、議員の責任）

・　住民への説明不足

パワーバランスが崩れた！→そして破綻すると･･･

1. 役所が地獄絵図

　　　　　　　↓

もはや役所が維持できないレベルに･･･

1. 負担激増、サービス低下

　　　　↓

役に立たない役所でも負担は最高額･･･

1. 市の国家管理･･･何も決定権持たない自治体に
2. 人口減少問題

1959年　　→　　2007年　　→　　2021年

116,278人　　　　12,270人　　　　7,175人

* 財政再建の道は歳出にあり

・　歳入を増やす労力は莫大。頑張っても効果は薄い。

・　歳出は減らした分だけ楽になる。

　　故に、財政再建は歳出ベースでやるべし。

* 行政改革　　予算編成を見直せ

・　歳入と歳出のバランスを直さない限り財政再建は永遠にできない!!

* 金を借りてモノを作る時代は終わった

・　PPPを駆使！官民連携で運営委託も。公園もパークPFI

不用地の有効活用がカギ。最小限で最大効率を！

* 官民連携の秘策、PFSの活用（1）

・　PFS　成果連動型民間委託契約方式

* PFSの使い道は多岐にわたる

・　SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）

社会的インパクト投資

* 人事制度の改革　　　給与表を見直せ

　　　　　　　　　　　　↓

給料表の見直し次第で総人件費の1割以上削減可

* スマート自治体　　DXのすすめ

・　コスト削減ならRPAから検討しよう

* LINEスマートシティ推進パートナープログラムについて

混雑解消、キャッシュレス、情報発信

・　行政サービスへの転用

* DXは社会全体を変革する動き

街のDX→自治体DX

モーターリゼーション→公用車整備

◎　自治体DXはコスト削減もできるが、それ以上に町の発展に寄与できるという視点で進めること。

最後に

* 財政再建は早ければ早い方がいい。
* 今後ますます厳しくなることを踏まえ早期に着手を。
* 財政の在り方が変わりつつあることを理解。
* 未来に責任、持続可能な財務体質を構築せよ。
* 財政はすべての政策の根幹、必ず熟知せよ。
* 財政再建なくして街の未来はなし。
* 今ならまだ大半の自治体はソフトランディング出来るはず。

財政再建の要諦

徹底的にブレずに例外を作らずやりきること

今回の受講は、過去を学び近未来に向けてタイムリーな内容で、有効な内容でとてもよかった。

終わり